

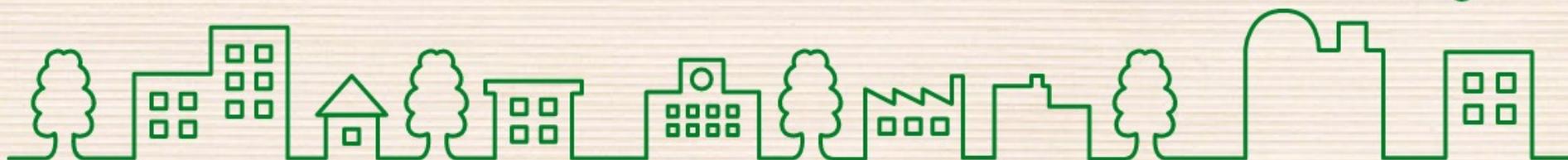
2022年11月30日

ISAP2022テーマ別会合6

脱炭素社会の実現に向けた個人の覚醒：「気候市民会議」からの示唆

気候市民会議の意義と 日本における活用をめぐる課題

Significance of climate assemblies and challenges in their application
to the Japanese Society



三上直之 MIKAMI Naoyuki

北海道大学（科学技術社会論・環境社会学）

ニューカッスル大学 客員研究員（2022年5月～23年5月）

気候市民会議とは？

- 無作為抽出（くじ引き）で
社会の縮図を構成するように集まった
一般の市民（数十人～約150人）が
数週間から数か月かけて
気候変動対策について話し合う会議
→結果は国や自治体の政策決定に活用
- フランスや英国では2019年頃から政府や議会、
自治体が正式に開催

【事例】 フランスの気候市民会議

La Convention Citoyenne pour le Climat

- 2018年秋に起こった燃料税引き上げへの反発を契機に、NGOなどの提案を受けて、マクロン大統領が主導して政府が主催
- 全国から無作為抽出された150人が、2019年10月～20年6月の7回の週末に議論
- 温室効果ガス排出量の表示を、店舗や消費の場所、商品ブランドの広告などで義務づけ▽2025年以降、排出量の多い新車の販売を禁止▽代替可能な低炭素の交通機関が存在する飛行機の国内線を段階的に整理▽2030年までに、新築・改築の建築物で石油および石炭ボイラーの撤去を義務化、など、149の提言を提出
- 提言に基づく「気候とレジリエンス法案」が議会審議に付され、2021年夏に成立



気候市民会議の参加者と会談するマクロン大統領
<https://youtu.be/G0rhjLeTEjw>

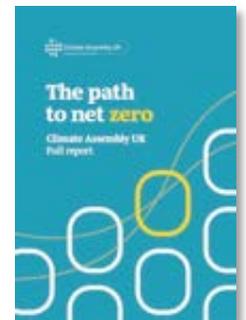
【事例】英国の気候市民会議

Climate Assembly UK

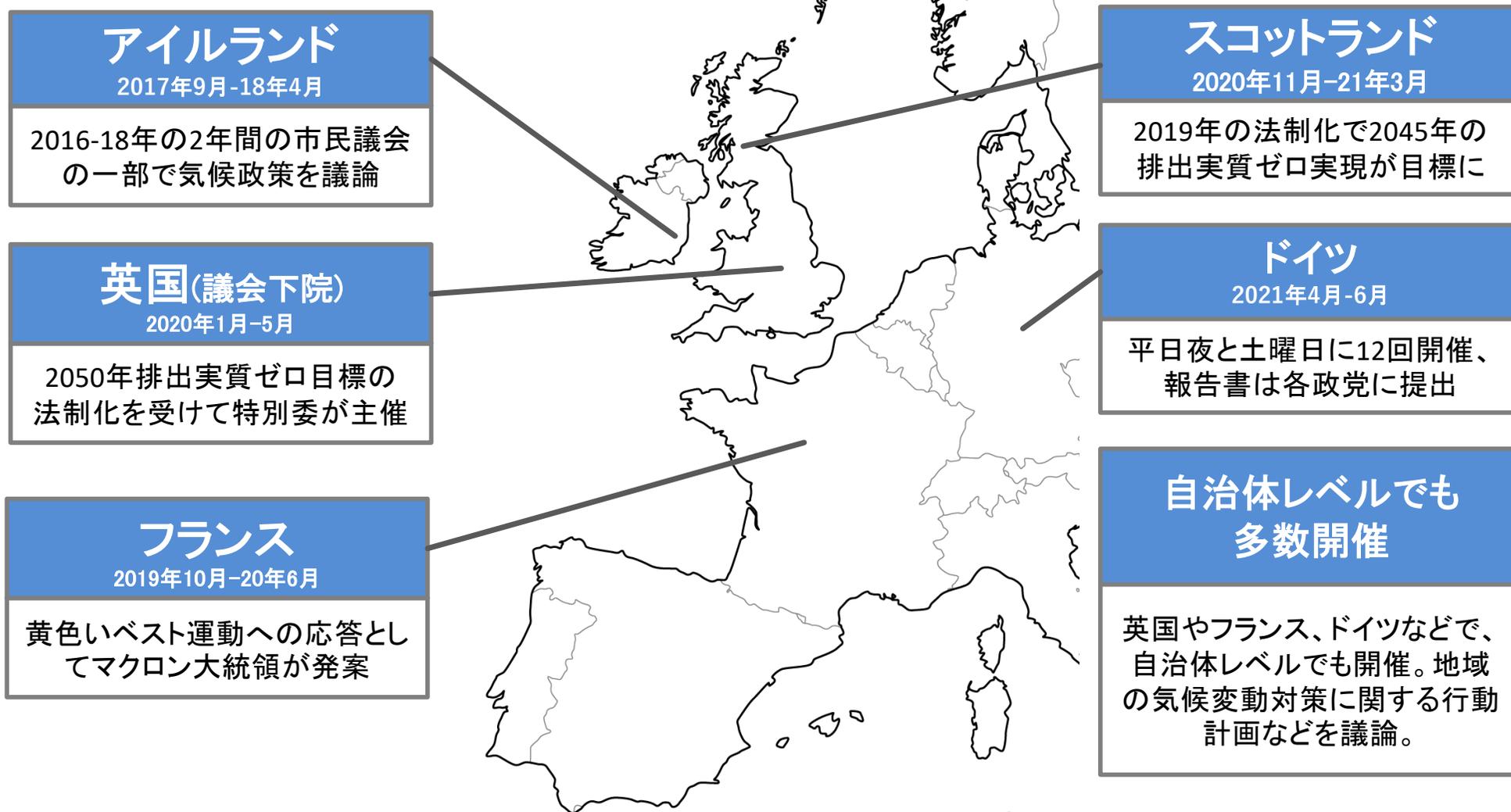
- 英国では2019年6月、気候変動法の改正により、**2050年の排出実質ゼロ目標が法制化**
→この目標をどのような方策で達成すべきかが市民会議の議題
- 政府の助言機関（CCC）は、ガソリン車、ディーゼル車の禁止や、暖房の脱炭素化、水素の活用、二酸化炭素回収・貯留CCSなどの対策を提言
- 立場の異なる専門家の意見を聞き（①**学習**）、グループで②**討議**し、論点ごとに③**投票**する、という3つのステップで進行。2020年1月下旬～3月下旬にかけて4回の週末に議論（の予定だった）
- 2020年3月下旬に開催予定だった第4回は、新型コロナの感染拡大を受けて4月～5月に分けてオンライン開催
- 2020年9月に最終報告書→議会での審議・調査に活用



参加者は7～8人ずつのグループに分かれて議論
(Climate Assembly UKウェブサイト、Fabio de Paola / PA Wire)



欧州における気候市民会議の広がり



デンマーク、フィンランド、オーストリア、スペインなどでも全国規模で開催

【事例】気候市民会議さっぽろ2020

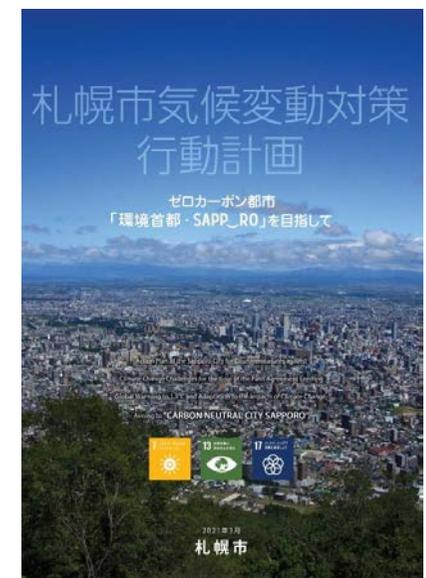


3つの論点

- ①脱炭素社会の将来像(ビジョンと実現時期)
- ②省エネルギーと再生可能エネルギーの導入拡大
- ③移動と都市づくり、ライフスタイルの転換

- **趣旨**： 科研費*による共同研究の一環として気候市民会議を国内で初めて試行（協力：札幌市、北海道環境財団、RCE北海道中央圏協議会、後援：道、環境省北海道地方環境事務所）
- **議題**： 札幌市における「2050年CO2排出実質ゼロ」目標の達成方策を議題に
- **日程**： 2020年11月8日～12月20日に4回（日曜午後）に完全オンラインで開催
- **参加者**： 16歳以上の市民20名を2段無作為抽出（男性12名、女性8名；10代(4名)～70代）
- **結果の活用**： 札幌市の新しい気候変動対策行動計画（2021年春策定）などの施策に活用するため、今年1月に結果を市に正式に報告。さらに3月に詳細な報告書をまとめて公表し、札幌市担当者や関係者も交えて議論

*科研費基盤研究(B)「公正な脱炭素化に資する気候市民会議のデザイン」(20H04387)



札幌市気候変動対策行動計画

気候市民会議さっぽろ2020の流れ

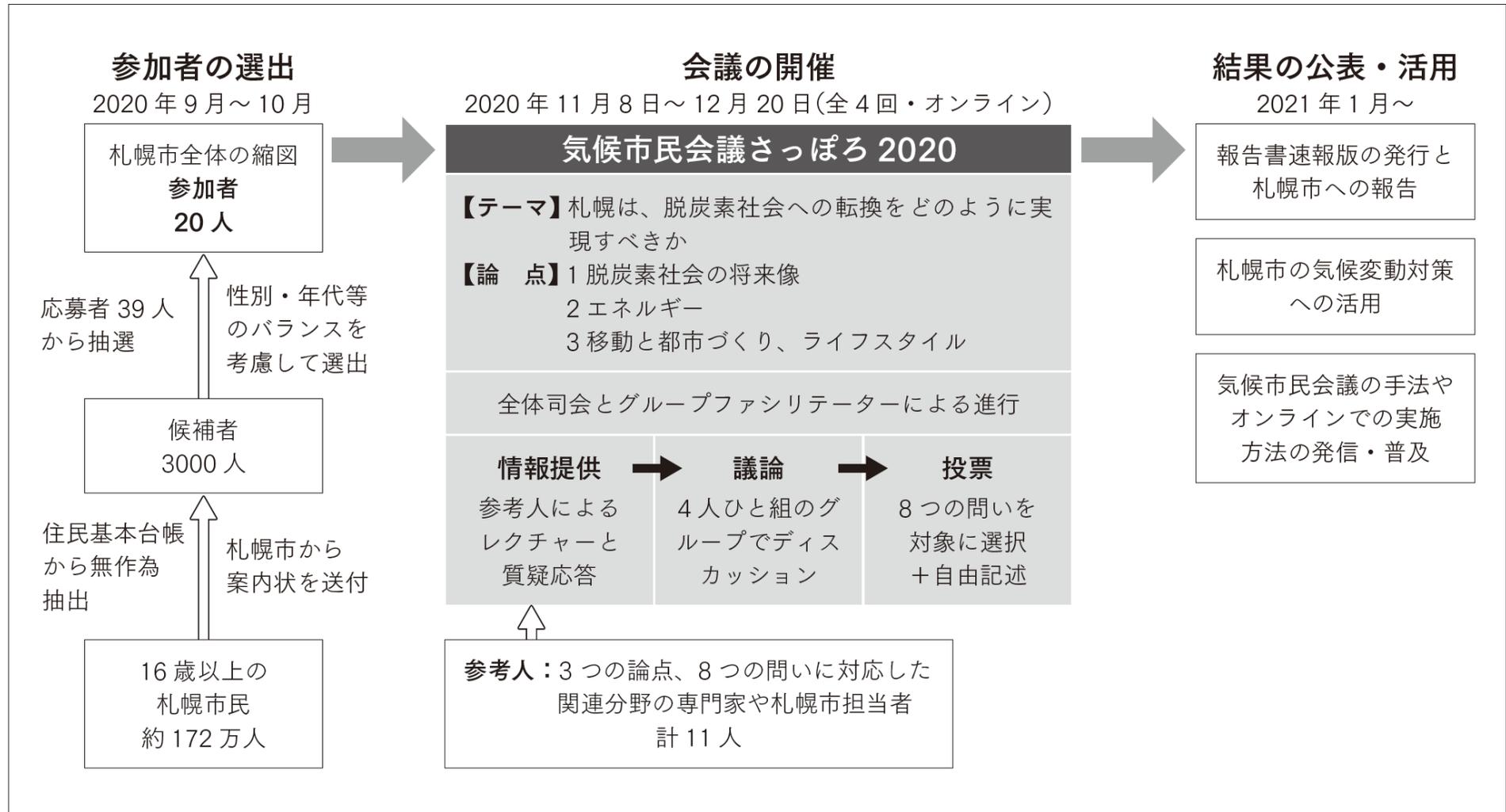


図 1-2 会議全体の流れ



全体テーマと3つの論点

テーマ：札幌は、脱炭素社会への転換をどのように実現すべきか？

論点	内容
<p>【論点1】 脱炭素社会の将来像</p>	<p>温室効果ガス排出実質ゼロを実現した札幌は、具体的にどのような姿に生まれ変わっているべきか？ どのような方針やスピードで、何を大事にしつつ、その変化を実現していくべきか？</p>
<p>【論点2】 変革の道のり① エネルギー</p>	<p>住宅や事業所でのエネルギー利用による排出をゼロにするため、省エネルギーや、再生可能エネルギーの導入拡大などの対策を、どのように進めるべきか？</p>
<p>【論点3】 変革の道のり② 移動と都市づくり、 ライフスタイル</p>	<p>交通手段のゼロエミッション化や、脱炭素型の都市づくりなどの対策を、どのように進めるべきか？ 脱炭素型のライフスタイル、ワークスタイルへの転換を促すため、どのようなしくみや取り組みが必要か？</p>

会議の進め方



情報提供

参考人レクチャーなど



議論

グループディスカッションなど



投票

「問い」を対象に

第2回

11月22日

論点2：エネルギーの
情報提供 と 議論

論点2の

投票

第3回

12月6日

論点3：移動と都市づくり、
ライフスタイルの
情報提供 と 議論

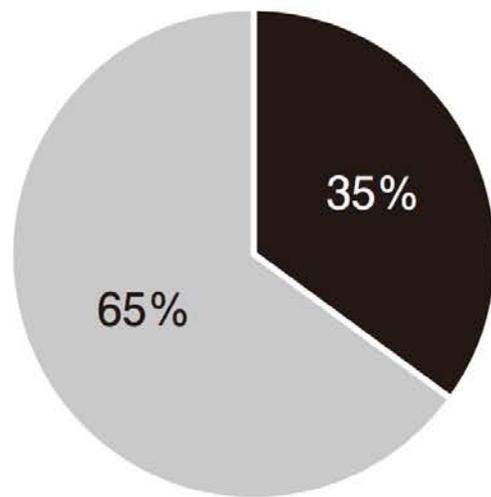
論点3の

投票

会議結果の例

実質ゼロ実現の時期

- 約3分の1（20人中7人）の参加者は、札幌市が現在掲げる2050年よりも早い時期に、温室効果ガス排出実質ゼロを達成する可能性を追求すべき、との考えを示した



実現の時期	(人)
(A) 2050年よりも早い時期に、排出実質ゼロを達成する可能性を追求すべき	7
(B) 2050年に排出実ゼロを達成するという、現在の目標のままでよい	13

■(A) 2050年よりも早い時期 ■(B) 2050年のままでよい

図 3-3-1 2050年よりも早い時期に温室効果ガスの排出実質ゼロを支持するか（全体の投票結果）

会議結果の例

脱炭素社会を実現した札幌の将来像

将来、脱炭素社会への転換を実現した札幌のまちでは、市民はどのような暮らしを送っているでしょうか。衣食住を始めとする家庭での生活や、仕事や学業の様子を中心に、都市施設・設備やそこで用いられている技術、社会制度、自然環境の状況なども含めて、**期待されるまちの姿と、その中でのライフスタイル**を自由にイメージしてください。

*投票には、参加者の意見をもとに作成した40項目の選択肢を使用（作成過程は『最終報告書』資料5として収録）

結果を分析して公表、札幌市にも提出



『最終報告書』

<http://hdl.handle.net/2115/80604>



▲2021年1月25日、札幌市役所を訪問。佐藤博・環境局長（右）に速報版の報告書を手交し、結果を報告

北海道新聞、朝日新聞、毎日新聞、NHKテレビ・ラジオ、TVh、FMドラマシティなどメディアでの紹介も多数

なぜ無作為抽出型の市民会議なのか

- 「脱炭素社会」への転換という課題の性格
 - すべての人の暮らしに関わる大きな変化
 - 切迫した課題だが、まだ選択肢は残されている
 - 専門家も「正解」を知らない
- 私たち一人ひとりが問題を知って、ともに考え、話し合う余地がたくさんある
 - 脱炭素化を実現するために、どのような社会の姿、暮らし方を選択すべきか
 - どのようなしくみや政策、技術などがあれば、私たち市民が、そうした選択をしやすくなるか

(脱炭素社会への転換)×(民主主義の刷新)= ?

- 気候危機をめぐる若者の運動や、気候市民会議の広がりが示していること
= 「脱炭素社会への転換」を加速させるには、「民主主義のイノベーション」というもう一つの変革も同時に起こす必要があるとの認識の広がり
- こうした認識やそれに基づく取り組みは**気候民主主義**という新たな潮流と捉えうる
- 気候市民会議はそうした同時変革を促す、一つの方法



ロンドン中心部に集まった気候ストライキの若者たち（2019年9月）



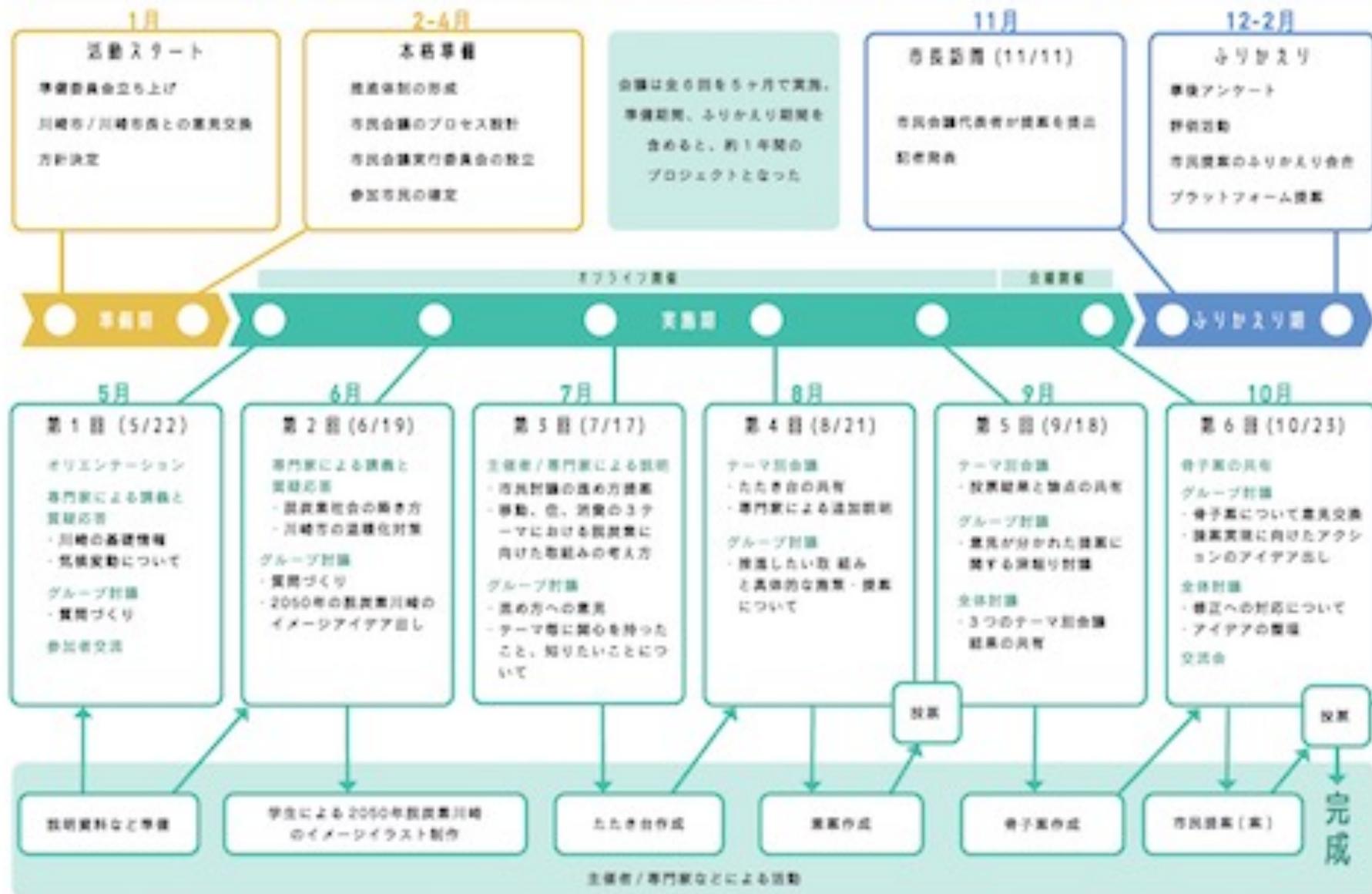
三上直之『気候民主主義 - 次世代の政治の動かし方』岩波書店、2022年5月

日本での気候市民会議の開催状況

開催地／名称	時期	主催	参加者数	目的やテーマ、結果の活用方法
北海道札幌市 気候市民会議 さっぽろ2020	2020年 11月 ～12月	実行委員会（北海道大・大阪大・国立環境研などの研究チーム） 協力：札幌市など	20	札幌における脱炭素社会の転換の方策をテーマに、日本で気候市民会議を初めて試行。結果は市に報告し行動計画策定に活用
神奈川県川崎市 脱炭素かわさき 市民会議	2021年 5月 ～10月	実行委員会（環境政策対話研究所、川崎市温暖化センターなどで構成）	75	移動・住まい・消費の3テーマを重点的に議論し77項目の提言をまとめ、市の温暖化対策推進基本計画への意見として川崎市長に提出
東京都武蔵野市 武蔵野市 気候市民会議	2022年 7月 ～11月	武蔵野市	68	消費や移動、住まいをテーマに議論して市民意見をまとめ、市が行動指針「気候危機打開武蔵野市民活動プラン（仮称）」の作成に活用
埼玉県所沢市 マチごと ゼロカーボン 市民会議	2022年 8月 ～12月 (開催中)	所沢市	49	エネルギーや消費、移動などのテーマについて議論し、出された意見と投票結果を市の環境審議会に報告。地球温暖化防止の計画を含む、市の環境基本計画の改定などに活用

【事例】 脱炭素かわさき市民会議

03 会議進行スケジュール



出典：「脱炭素かわさき市民会議 2021.05-10」パンフレット（環境政策対話研究所）

【事例】脱炭素かわさき市民会議

05 市民提案

🚗 移動 27項目

● 自家用車に依存せずに生活できるまち

公共交通整備の水準をあげる

- 公共交通によるバス・鉄道路線の整備、充実
- バス乗降の利便性の向上
- 商業施設と連携の乗降駅、マビリティ・マウンメントの設置（市民）の検討

乗合タクシー等の地域シェアリング交通整備

- 予約制乗合タクシー導入、交通弱者に安心を醸成し
- Mobilityを活用した定額制地域交通サービス

● 徒歩・自転車でもらえるまち

自転車の通行環境の整備

- 2030年までに200kmの自転車通行環境の整備
- 近隣部の整備（自転車道整備等）

シェアサイクルの整備

- シェアサイクル導入エリアの拡大と自転車道の整備

● 電気自動車が普及したまち

電気自動車の普及へのインセンティブ

- 2030年までに100%電動化に向けた実施
- EV車検、充電施設の整備を定めたEV車検法の改正
- カーシェアリングにおけるEV車の導入の推進

EV充電施設の普及策

- 普及促進への普及策（充電設備整備補助と課税付与）
- 一定距離以上の駐車場に充電施設の設置
- パワースターション導入の普及策の検討

● 市民の移動に関する横断的な取組み

- 2030年までに電動車的な移動の工費・コスト削減
- 鉄道駅（有明駅、武庫川駅、津の口、新宮等）におけるリアルプロジェクトを立ち上げ、その成果を全市に拡大

🏠 住まい 19項目

● 住まいの省エネ・再エネ導入が進んだまち

住宅の省エネルギーの促進

新築住宅へのZEH（ZEM）基準の普及と義務化等

- 既存住宅の省エネ基準の強化
- 省エネ補助金に対する認定省エネ住宅の認定等
- 新築住宅・賃貸住宅での省エネ性能の義務化
- リフォーム、太陽光発電/太陽熱温水器に対する助成促進、普及促進策
- 専門員による省エネアドバイスの促進等
- 補助金等による民間事業者の活用

太陽光発電/太陽熱温水器の普及促進

- 太陽光発電/太陽熱温水器の設置レベルの認定
- 認定レベルの高い住宅から設置の義務化
- 市内のメガソーラーの敷地を国の管理下に
- 民間に譲渡する際に認定されたメガソーラーの活用

● まちづくりによって暮らしの省エネを促進するまち

共有スペース・コワーキングスペースの活用

- 公共施設の活用等、省エネ設備等共有スペースの活用
- 共有スペース活用によるエネルギー消費削減

● 暮らしの省エネ

- 住宅地の緑化推進、防風林の整備、遮熱塗料の普及等、住宅地の省エネ

● 市民の省エネ意識の向上

- 市民の省エネ意識の向上に向けた取り組み
- 市民の省エネ意識の向上に向けた取り組み



市民会議の開催風景が写真に収められています。

【事例】脱炭素かわさき市民会議

消費 22 項目

●大量生産・大量消費に根ざした社会の見直し

消費生産・消費消費
ものも大切に使う環境意識の醸成

- 消費削減品の製造、アフターサービスなどの提供等
- リユース・シェアリングサービスの拡大
- 修理・修理・修理等でのアップグレード、オーバーレス化促進

CO2排出の少ない製造や販売方法の普及

- 製造工程の改善・削減
- 環境負荷の低い製品・サービスに選択
- 商品・パッケージ製造も消費者理解を促しつつ削減
- CO2削減量の見える化
- 包装削減の削減とカーボンフットプリントの削減

●資源循環と廃棄物排出ゼロへの挑戦

異なるリサイクルの推進、ごみ減量の削減

- ごみ減量、リサイクル促進の環境教育による市民参加
- 海もつりサイクルの促進
- 使い捨て製品の削減・減らすリ・リユース製品の活用
- 廃棄物ゼロの削減と資源循環、削減効果等の見える化

プラスチックの促進

- プラスチック資源化の促進（リサイクルの拡大）
- 海洋プラスチックの削減
- 使い捨てプラスチック製品の削減効果と削減への効果検証

●持続可能で健康的な食のライフスタイルの推進

食品ロスを減らさない

- 食品ロスの削減（削減）、2030年までに半減
- スーパー・レストランの食品ロス削減の取り組みの推進
- 食品ロス削減の削減の見える化
- フードドライブの活用等の促進

CO2排出の少ない食の推進

- 地産地消・旬産旬消費を促すスーパー、肉菜店の推進
- 減量・量販を積極的に促す

●消費行動の変容を促す革新的な取組み

環境配慮行動、環境配慮商品/サービスの購入にポイントがたまる付帯システムの構築



さまざまな課題に対し賛同の集約を図る



グループの課題に各グループの代表者が参加

脱炭素全般の取組み 9 項目

●普及・啓発・教育

- 脱炭素化に関する地域情報の提供、モデル地区での社会実験結果の発信と見える化等、脱炭素施策の普及
- 脱炭素ライフスタイル・ガイドの作成と市民への普及
- インフルエンサー・意見人による活用、キャンペーンの展開
- 未来を担う子供と、大人達が脱炭素社会のライフスタイルを一緒に考え、実践できる環境学習の推進

●市民会議、市民交流

- 脱炭素市民会議を開催して関係し、市民と交流を促進
- 及び市民等との意見による脱炭素の推進人口を増やす

●再生可能エネルギー

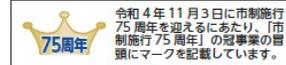
- 民間事業者としての再生可能エネルギー導入の促進

●市の脱炭素の取組み

- 脱炭素施策の環境配慮の推進と効果測定等の活用
- 脱炭素の推進効果の見える化を図る、PR・コミュニケーション

2050年脱炭素かわさきのイメージ





●武蔵野市ホームページ

<http://www.city.musashino.lg.jp/>

携帯電話版は末尾に m/ を。



目次

特集	新型コロナワクチン接種・予約情報	…… 2			
特集	TABETE・ジモティーと連携協定を結びました	…… 12			
コロナ関連	…… 3	お知らせ・議会	…… 3	募集	…… 5
講座	…… 5	イベント	…… 6	スポーツ	…… 7
子ども	…… 8	健康	…… 9	休日の医療機関	…… 9
ごみとサイクル	…… 11	図書館	…… 11	コミュニティ	…… 11

発行 ● 武蔵野市 編集/総合政策部秘書広報課 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 代表電話 ☎0422-51-5131

気になる地球温暖化 **あなたも気候変動問題の当事者に**

気候市民会議を開催します

近年、地球温暖化が原因とみられる異常気象が多発し、私たちの生活はその影響を受けています。“気候危機”と言われている今、市では2050年度までに温室効果ガスの排出を実質ゼロとする、「2050年ゼロカーボンシティ」を目指しています。2050年に向けて、私たちの暮らしの中でも、大きな転換が必要とされています。あらゆる人が気候変動問題の当事者としての「気づき」や「行動変容」を広めていくために、市では“気候市民会議”を開催し、地球温暖化（気候危機）問題に対する具体的な行動を示す“気候危機打開武蔵野市民活動プラン（仮称）”を作成します▶問：環境政策課環境啓発施設係 ☎60-1945

▶東京都武蔵野市では今年7月～11月に、自治体が公式に開くものとしては国内第1号となる気候市民会議が開かれた。くじ引きなどで選ばれた市民68人が議論。それをもとに市が「気候危機打開武蔵野市民活動プラン」をつくる

気候市民会議とは？

無作為抽出などによって選ばれた市民が、気候変動対策について話し合う会議です。その開催は欧州各国で広がりを見せており、日本国内でも開催されています。本市では、気候変動の現状に詳しい講師によるレクチャーを踏まえた上で、地球温暖化に対する目指すべきまちの姿や、一人ひとりの関心と行動を変えていくための取り組みについて市民目線で話し合います。



参加方法

環境問題やまちづくりについての特別な予備知識は必要ありません。お気軽にご応募ください。

※集合開催を予定しています。オンライン参加を希望の方は申し込み時にその旨を記入してください

封書が
返ります

無作為抽出枠

公募枠

アンケートにご協力ください！

暮らしの中で、地球温暖化（気候危機）問題について考える場面や、行っている取り組みについてのアンケートを実施しています。市関連施設で配布しているほか、右記二次元コードからも回答できます。



気候市民会議スケジュール 場所 むさしのEcoReゾート

第1回 7月26日(火)午後6時

テーマ：地球温暖化の現状について、目指すべきまちの姿について



ゲストティーチャー

江守正多氏

東京大学未来ビジョン研究センター教授。専門は地球温暖化の将来予測とリスク論。IPCC 第5次・第6次評価報告書の主執筆者。

これまでの成果①

- 札幌市と川崎市で先行的に行われた気候市民会議では、住宅におけるエネルギー消費や移動など、生活に密着した領域での排出削減の方策を取り上げて、専門家からの情報提供を受けながら、排出削減のためにどのような変化が必要であり、その変化に向けてどのような仕組みや取り組みが有効であるかを、参加者自身が熟議できていた。
- 結論は、政策案や政策選択肢の形でとりまとめられ、投票により支持の度合いも明らかにされた。
- 気候市民会議は、議論の内容とプロセス両面で専門家の支援を受けつつ、社会の縮図となる一般の人びとが自らの価値判断を形成し、表出する新たな方法として機能していた。

これまでの成果②

- 会議結果、提言は市当局に届けられ、それぞれの市で計画づくりに活用されている。
- 札幌と川崎の先行例がメディアなどを通じて伝播し、気候市民会議の存在や意義が広く知られるようになった。
- 多くの自治体関係者にも注目・参照され、今年度、行政が公式に主催して行われている武蔵野市と所沢市での気候市民会議の企画や設計にも、先行する二つの気候市民会議の経験が生かされている。

日本における活用をめぐる課題

- このやり方が自治体の気候変動対策に関する政策決定や、地域での取り組みにどこまで本質的な影響力を持ちうるかは、これからの取り組み次第。
- 今後、自治体において公式に用いられていく過程で、どこまで意味のある変化を生み出しうる形でテーマ設定がなされ、政策との接続が確保されていくのかが課題。
- 独立・中立な立場で運営を担いうる専門家集団の確保・育成も必要。
- 地域での気候市民会議の活用を広げることで、日本における脱炭素社会への転換×社会的意思決定のあり方の刷新（＝気候民主主義）の実現へ

参考文献

◆欧州における気候市民会議の動向

『欧州気候市民会議～欧州における気候民主主義のさらなる展開～（2022年版）』環境政策対話研究所（協力：地球環境戦略研究機関），2022年9月。

<https://inst-dep.com/info/4826194>

『欧州気候市民会議～脱炭素社会へのくじびき民主主義の波』環境政策対話研究所，2021年4月。<https://inst-dep.com/info/3896019>

◆スコットランドの気候市民会議 評価報告書

Andrews, N., Elstub, S., McVean, S., and Sandie, G. *Scotland's Climate Assembly Research Report: Process, impact and Assembly member experience*, Scottish Government Research, March 2022. <https://www.gov.scot/publications/scotlands-climate-assembly-research-report-process-impact-assembly-member-experience/>

◆気候市民会議さっぽろ2020

気候市民会議さっぽろ2020実行委員会『気候市民会議さっぽろ2020 最終報告書』，2021年3月。<http://hdl.handle.net/2115/80604>

◆脱炭素かわさき市民会議

▽環境政策対話研究所「脱炭素かわさき市民会議」（小冊子vol.2），2022年11月。

<https://inst-dep.com/info/4846546>

▽環境政策対話研究所『脱炭素かわさき市民会議の記録』，2022年8月。

<https://inst-dep.com/free/reportsale9607697046>

◆「気候民主主義」について

三上直之『気候民主主義——次世代の政治の動かし方』岩波書店，2022年5月。